

研究部会 活動報告

研究部会長 石山文彦

1. 公開法律シンポジウム（第17回）の開催

日時：2007年12月10日（月）

テーマ：裁判員制度って本当に大丈夫か？

司会／コーディネーター：木村 晋介 氏（弁護士）

パネリスト：高野 隆 氏（早稲田大学リーガル・クリニック弁護士）

西野 喜一 氏（新潟大学大学院実務法学研究科教授）

制度説明： 山本 紘之 氏（本学法学部法律学科講師）

今回のシンポジウムは、2009年度からの導入が予定され、社会的にもきわめて関心の高い裁判員制度をテーマとし、百数十名の出席者を得て行われた。

木村晋介氏の司会のもと、まず山本紘之氏による基本的な論点の解説があり、それを承けて、裁判員制度の導入に肯定的な立場をとる高野隆氏と同制度に否定的な立場をとる西野喜一氏の両パネリストが、それぞれの意見を述べた。さらに、両者の間で白熱した討論が行われ、その後、フロアーからの意見・質問を受け、討論者からの応答がなされた。

なお、本シンポジウムの開催にあたり、大東文化大学法学部法政学会の後援を受けた。記して謝意を表したい。

2. 研究班の現況

今年度は、前年度からの継続が3件、新規が1件の計4つの研究班に対して、研究助成を行った。各研究班の活動は、主として定例研究会や研究合宿の開催などである。各研究班の編成は、以下のとおりである（いずれも、筆頭者が各班の代表責任者）。

継続

① フランス近代法研究班

荻原 貞正（法学部法律学科教授）

今村 与一（横浜国立大学大学院国際社会科学研究科教授）

瓜生 洋一（法学部政治学科教授）

江藤 价泰（本学元教授）

貴田 晃（法学部法律学科准教授）

白石 裕子（法学部法律学科教授）

森田 悦史（国土館大学准教授）

② IT教材開発研究班

野口 昌宏（法学部法律学科教授）

瓜生 洋一（法学部政治学科教授）

江口 幸治（埼玉大学経済学部准教授）

上机 美穂（洗足学園短期大学・日本大学理工学部非常勤講師）

堀川 信一（法学部法律学科講師）

松原 孝明（法学部法律学科講師）

山口 志保（法学部法律学科教授）

③ 法学基礎教育研究班

加瀬 幸喜（法学部法律学科教授）

穴沢 大輔（法学部法律学科講師）

石山 文彦（法学部法律学科教授）

荻原 貞正（法学部法律学科教授）

葛西まゆこ（法学部法律学科講師）

木原 正雄（法学部法律学科教授）

河野 良継（法学部法律学科講師）

柴田 敏夫（法学部法律学科教授）

白石 裕子（法学部法律学科教授）

苑原 俊明（法学部法律学科教授）

古川 陽二（法学部法律学科教授）

堀川 信一（法学部法律学科講師）

森 稔樹（法学部法律学科教授）

山口 志保（法学部法律学科教授）

山本 裕子（法学部法律学科准教授）

山本 紘之（法学部法律学科講師）

新規

④ 基本権の理論と実践・研究班

石山 文彦（法学部法律学科教授）

上村 英明（恵泉女学園大学人文学部教授）

葛西まゆこ（法学部法律学科講師）

木原 正雄（法学部法律学科教授）

苑原 俊明（法学部法律学科教授）

町井 和朗（本学名誉教授）

3. 定例研究会の開催

今年度は、下記のとおり、計3回の研究会を開催した。いずれも本学法律学科に新規採用された若手教員による報告を軸としたものであり、熱の入った報告につづき、活発な質疑応答が行われた。なお、各研究報告の概要については、本『法学研究所報』の該当頁を参照されたい。

第27回（2007年度第1回）研究会 2007年5月30日（水）

テーマ：契約解釈の方法について

～オーストリア一般民法典第914条及び第915条を参考に～

報告者：堀川 信一（法律学科講師）

第28回（2007年度第2回）研究会 2007年7月4日（水）

テーマ：過失犯における予見可能性の意義

報告者：山本 紘之（法律学科講師）

第29回（2007年度第3回）研究会 2007年10月31日（水）

テーマ：金銭の横領について ～民事法の議論を参考に～

報告者：穴沢 大輔（法律学科講師）